

(第2号様式)

読谷 第2243号  
令和8年3月24日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立読谷高等学校  
校長 喜久本直貴  
(公印省略)

### 令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月18日	場所	読谷高校小会議室	出席状況	評議員5名、本校職員6名
第2回	日時	令和7年12月24日	場所	読谷高校小会議室	出席状況	評議員4名、本校職員6名
第3回	日時	令和8年3月19日	場所	読谷高校小会議室	出席状況	評議員4名、本校職員6名

#### 2 学校評議員に求めた事項

- ①学校経営について
- ②毎学期の学事報告を聞いての意見
- ③進路指導體制と進路決定状況を聞いての意見
- ④生徒指導體制の報告を聞いての意見
- ⑤図書貸出状況の報告を聞いての意見
- ⑥学校評価アンケートの結果を受けての意見
- ⑦学校全般に関する提言等

#### 3 学校評議員の意見

- 進学結果を分析し、今後は、AI活用等良い物は取り入れる姿勢で進路指導を行って頂きたい。
- 読書活動の推進に努め、図書室を大いに利用・活用し学習活動に役立ててほしい。
- 価値観が多様化している中、校則や自動販売機等に関して、生徒・保護者の意見も取り入れながら、時代の変化に合わせた取り組みを行って頂きたい。
- 薬物事案は、生徒が加害者にもなり得る時代だと考えている。身の回りには様々な危険が潜んでいることについて、今後も粘り強い指導をお願いしたい。

#### 4 学校運営に反映した事項

- 図書利用状況を学校評議員会で共有し、学校だけでなく村立図書館の情報等を生徒に共有した。
- 県や厚労省等の資料を活用や薬物乱用防止講話を実施し、未然防止等に努めた。
- 生徒と意見を支わしながら、自動販売機の設置数や販売する飲料の種類を増やした。

#### 5 課題その他

- 多様な価値観がある中、生徒・保護者・地域の意見等をどのように取り入れていくか。
- これまでの進路実績も参考にしながら、AI等をどのように進路指導に活用する検討が必要である。